

しあわせのたね

そらは あおくすんで やさしい かぜが ふいています しろいくもが ひとつ・・・ぽっかりと うかんで います まるで おひる しているように



のはらには ちっちゃな おんなのこが ひとり

なまえは ひかり

そらが だいすきで だいすきで

きょうも くもといっしょに あそんでいました



すると そらから なにかが おちてきて

てのひらに ちょこんとのりました

するとどうでしょう

ぽかぽかと あたたかく なりました



おひさまに かざしてみると ぴかぴかとかがやいた たねでした

ひかりは " きれい!! "とつぶやき

ぎゅっとにぎりしめました

そして だいじに おうちに もってかえりました



さっそく たねをうえました

まいにち せっせと おみずを あげました

すると ちいさな ふたつのはっぱが ぽん!!

ひかりは すこし うれしくなりました



こんどは おおきいはっぱが ぽん!!ぽん!!

ひかりは "もっと おおきくな~れ"と いのりました

はっぱが たくさんになったころ あおむしくんが はっぱを むしゃむしゃ

ひかりは それをみて あおむしくんに やさしくいいました

" いっぱいたべて きれいなちょうちょさんになってね"と

つぎのひ あおむしさんは いませんでした

こんどあうときは うつくしいちょうちょさんに へんしんしていることでしょう

はっぱはいっぱいになりました

はるのおわりのころです



あつい あつい なつをのりきったころ

はっぱのなかで ぽん ぽんと おとがきこえてきました

ひかりが めをやると そこには いつのまにか きいろい ほしがたの はながさい ていました

それは まるで こんぺいとうのようです

それに あまいかおりが しています



きいろいはなは よるになると つきのひかりで きらきらと かがやきました

まるでほしのようでした

ひかりは それをじっとみつめました

すると そのなかに ひときわひかる おおきなはなが めにとまりました

そこだけ きんいろに かがやいていたからです

ひかりは とても やさしい きもちになりました



おおきな はなのなかは はーと のかたちの

ちいさな み が ちょこんとついていました

あっというまに おおきくなりました

そして ぴんくいろに いろづいたころ とてもよいかおりが

してきました

ちょうど やきあがりのくっきー のかおりでした



かおりに さそわれて

とりや どうぶつたちも あつまってきます

そして すこしづつ いろんなところに はこんでいきました

とりはそらを どうぶつたちは もりをかけぬけ たねを おとしました さいしょに ひかりが たねを てにしてから どれほど たったころのことでしょう



しあわせのたね

ひかりが そだてた ひとつぶのたねは

もりや はやし に かわりました

そして たくさんの ひとたちのてで

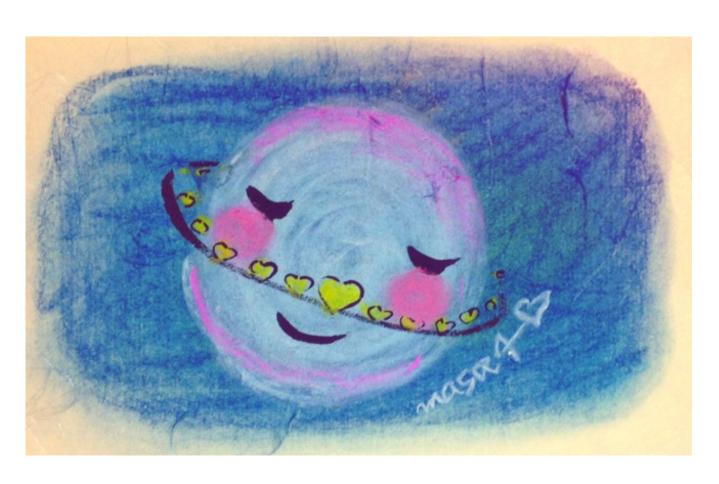
せかいじゅうに ひろがって いきました

うけとった ひとたちは てのなかに あたたかさを

かんじるだけでなく こころのなかにも ぽわん と

やさしい ひかりが やどっていきました

そして つぎつぎと つながって いったのです



また どれほどたったでしょうか?

ひかりのところに たねが もどって きました

そのたねは たくさんの ひとのてをとおして

しあわせのたね といわれるように なっていました

あなたのところにも とどいていますか?



しあわせのたね

http://p.booklog.jp/book/79847

著者: sikisai3

著者プロフィール:<u>http://p.booklog.jp/users/sikisai3/profile</u>

感想はこちらのコメントへ http://p.booklog.jp/book/79847

ブクログ本棚へ入れる http://booklog.jp/item/3/79847

電子書籍プラットフォーム:ブクログのパブー (http://p.booklog.jp/)

運営会社:株式会社ブクログ